

佐賀医科大学研究業績年報

第 17 号

2002 (平成14年)

佐 賀 医 科 大 学

はじめに

大学を取り巻く環境は怒濤の渦と化し、本学はまさにその本流に巻き込まれている。ご承知のように、本学は来る平成15年10月1日に佐賀大学と統合し、新しい佐賀大学の医学部として再出発する。そして、半年後の平成16年4月には法人化が待ち構えている。そのための準備として、統合後の新佐賀大学における教養教育の充実や管理運営体制に関する諸規定あるいは法人化後の基本構想等が急ピッチで整備されている。学内にあっても、独立した医科大学から学部体制への模様替えの準備で多忙を極めている。

そのような異常事態の中であって、学内の教育研究体制の整備が粛々と進められていることは特筆すべきで、ひとえに学内諸氏の多大の努力によるものと敬意を表したい。例えば昨年度学内措置により立ち上げた「地域包括医療高度化推進センター」は、その意義が文部科学省でも評価され、この4月から「地域医療科学教育研究センター」として再発足し、我が国における地域医療研究のメッカとして活動する基盤が確立した。さらに、大学院に医科学専攻（修士課程）が実現し、この4月に17人の学生が入学したが、このことは博士課程の充実にもつながる快挙であると喜んでいる。昨年度行われた基礎医学系を中心にした講座の再編に関連した研究スペースの見直しや任期制の導入なども順調に進んでおり、いずれも再出発後の佐賀大学医学部の活性化に大きく貢献するものである。

佐賀医科大学としての研究業績年報はこの17号で終わりとなるが、名称や状況は変わっても構成員一人一人がそれぞれの思い描く目標に向かって日々の努力を重ねていくことが大学の活性化、個性化の根源であることに変わりはない。今後ますます激しくなるであろう競争的環境の中で個性輝く新生佐賀大学医学部を目指して英知を結集し、特段の努力を重ねることが我々に課せられた使命であろう。

凡 例

- 1 この研究業績は、本学の専任教官、医員、医員（研修医）、大学院生、研究生、専攻生及び技官が、平成14年1月1日から平成14年12月31日の間に、またはこの期間の日付で発行（発表）した研究業績を収録した。

また、平成13年12月31日以前の研究成果のうち、未収録であったものを追加して収録した。

- 2 複数の講座等（講座内研究グループを含む）にまたがってまとめられた研究成果は、各々重複して掲載されている。そのため、著書、学術論文及び学会発表については、業績番号の次に以下のように区分記号を付した。

無印…………筆頭著者（発表者）が当該講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

○印…………筆頭著者（発表者）が本学内の他の講座等（講座内研究グループを含む）に所属する研究成果

*印…………筆頭著者（発表者）が本学外に所属する研究者である研究成果

目 次

基礎医学系

分子生命科学講座	1
(旧生化学講座, 旧薬理学講座, 旧一般教育等化学, 旧一般教育等生物学)	
生体構造機能学講座	8
(旧解剖学講座, 旧生理学講座)	
病因病態科学講座	14
(旧病理学講座, 旧微生物学講座)	
社会医学講座	22
(旧地域保健科学講座, 旧法医学講座)	

臨床医学系

内科学講座	30
呼吸器	
循環器	
消化器 (光学医療診療部を含む)	
代謝・内分泌	
血 液	
神経・筋	
皮 膚	
膠原病・アレルギー	
腎	
精神医学講座	53
小児科学講座	54
外科学講座	61
一般・消化器	
胸 部	
整 形	
形 成	
脳・神経	
泌尿器	
産科婦人科学講座	83
眼科学講座	87
耳鼻咽喉科学講座	90
放射線医学講座	94
(放射線部を含む)	
麻酔・蘇生学講座	98
(手術部・集中治療部を含む)	

歯科口腔外科学講座	102
臨床検査医学講座 (検査部・輸血部を含む)	104
救急医学講座 (救急部を含む)	106
地域包括医療学系	
医療情報学 (旧一般教育等情報・数理科学, 旧一般教育等物理学)	110
医療教育学 (旧一般教育等英語, 旧一般教育等哲学)	111
病態予防医学 (旧免疫・血清学講座)	113
生活行動支援学 (旧一般教育等社会学)	114
看護学科	
基礎看護学講座	115
臨床看護学講座	116
地域保健・老人看護学講座	119
附属病院	
総合診療部	122
医療情報部	126
リハビリテーション部	127
薬剤部	128
看護部	129
附属施設等	
保健管理センター	130
附属動物実験施設	131
附属実験実習機器センター	132

総 論

1. 研究業績刊行物等の件数

著作物	数	著作物	数
著 書 (和文)	196	症例報告 (和文)	1
著 書 (英文)	11		
学術論文 (和文)	372		
学術論文 (英文)	272		

2. 研究経費（文部科学省，厚生労働省その他の省庁，地方公共団体，民間団体等からの研究助成金）の採択状況

(1) 文部科学省科学研究費補助金	74件	120,715,000円
内訳		
特定領域研究	2件	6,655,000円
基盤研究 (B) 一般	6件	24,500,000円
基盤研究 (B) 海外	4件	9,700,000円
基盤研究 (C) 一般	35件	46,903,000円
萌芽研究	2件	1,600,000円
若手研究 (B)	25件	31,357,000円
(2) 厚生労働科学研究費補助金	3件	35,000,000円
(3) 受託研究	15件	17,912,751円

3. 学位授与件数

課程博士 11人，論文博士 8人，看護修士 12人

4. 学術国際交流基金事業

海外の研究者等受入れ助成

対象者	招聘研究者	招聘期間	支出額
内科学・教授 黒田 康夫	アメリカ合衆国 ハワイ大学医学教育部副部長兼国際交 流部長 Gordon Greene	平成14年5月16日～ 平成14年5月24日	294,066円
分子生命科学・教授 向井 常博	アメリカ合衆国 バージニア大学医学部 (小児科・分子遺 伝生化学部門) 助教授 Joseph Wagstaff	平成14年12月17日～ 平成14年12月18日	38,940円

留学生の受入れ助成，学費等助成

所 属	氏 名	指 導 教 官	助成期間	支給総額
看護学専攻 (修士 課程) 2年	劉 瓊玲	臨床看護学・教授 松岡 緑	平成14年4月～ 平成15年3月	360,000円

5. 教官の異動

平成14年1月1日から12月31日の間における講師以上の教官の異動は復職、休職を除き27名であった(人事異動参照)。

薬理学講座麻川武雄教授、内科学講座松尾修三教授、歯科口腔外科学講座香月武教授、臨床検査医学講座只野壽太郎教授の4名は定年により3月31日付けをもって退官となった。永年本学の発展のために果たされたご苦勞に対し感謝したい。

また、本学から他大学あるいは医療機関等へ転出された10名の諸先生方のこれまでのご活躍に感謝し、今後益々のご発展を期待したい。

11月1日には内科学教授に野出孝一氏(長寿科学振興財団研究員(非常勤))が就任した。昇任人事は10名であった。歯科口腔外科学教授に後藤昌昭氏(同助教授)、医療教育学教授に酒見隆信氏(同助教授)が教授昇任となった。その他昇任人事は助教授昇任3名、講師昇任5名であった。

今後ますますのご健闘をお祈りしたい。

異動年月日	所属・職名	氏名	異動の内容
14. 1. 1	放射線科・講師	吉 開 友 則	転任(国立病院九州がんセンターへ)
1. 1	地域保健・老人看護学講座 助教授	水 主 いづみ	昇任(地域保健・老人看護学講座 助手から)
3. 1	麻酔・蘇生学講座・助教授	平 川 奈緒美	昇任(本学講師から)
3. 1	放射線科・講師	加 藤 明	昇任(本学助手から)
3. 31	薬理学講座・教授	麻 川 武 雄	定年退職
3. 31	内科学講座・教授	松 尾 修 三	定年退職
3. 31	歯科口腔外科学講座・教授	香 月 武	定年退職
3. 31	臨床検査医学講座・教授	只 野 壽太郎	定年退職
3. 31	産科婦人科学講座・助教授	福 田 耕 一	辞職(佐賀県立病院好生館へ)
3. 31	耳鼻咽喉科学講座・助教授	津 田 邦 良	辞職(佐賀県立病院好生館へ)
3. 31	臨床看護学講座・助教授	谷 口 初 美	辞職(ハワイ大学に留学のため)
4. 1	臨床看護学講座・助教授	草 野 美根子	転任(群馬大学医学部教授へ)
4. 1	内科・講師	佐 藤 準 一	転任(国立精神・神経センターへ)
4. 1	臨床看護学講座・講師	石 山 さゆり	昇任(本学助手から)
4. 1	臨床看護学講座・講師	篠 崎 克 子	採用(産業医科大学講師から)
4. 16	麻酔科蘇生科・講師	佐 藤 英 俊	採用(佐賀県立病院好生館医長から)
5. 31	小児科・講師	佐 藤 忠 司	辞職(筑前山田赤十字病院へ)
6. 30	眼科・講師	西 村 知 久	辞職(佐賀県立病院好生館へ)
7. 1	内科・講師	高 島 洋	昇任(本学助手から)
8. 1	歯科口腔外科学・教授	後 藤 昌 昭	昇任(本学助教授から)
10. 1	臨床看護学・教授	松 岡 緑	転任(九州大学医学部保健学科へ)
10. 1	医療教育学・教授	酒 見 隆 信	昇任(本学助教授から)
10. 1	小児科・講師	藤 田 一 郎	昇任(本学助手から)

10. 15	医療情報学・助教授	堀本勝久	辞職（東京大学医科学研究所特任教員（非常勤）へ）
11. 1	内科学・教授	野出孝一	採用（長寿科学振興財団研究員（非常勤）から）
11. 1	産科婦人科学・助教授	横山正俊	昇任（本学講師から）
11. 1	産科婦人科・講師	室雅巳	昇任（本学助手から）